

平成 2 8 年度

「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立南港北中学校

平成 2 9 年 3 月

目 次

1 学校運営の中期目標	1
2 中期目標の達成に向けた年度目標	2
3 本年度の自己評価結果の総括	2
（１）学力の向上	3 ～ 4
（２）道徳心・社会性の育成	5 ～ 6
（３）健康・体力の保持増進	7 ～ 8

大阪市立南港北中学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

教育目標「希望にもえた豊かな人間性の育成」

- (1) すすんで学び、あすを切りひらく力を
- (2) からだをたいせつにし、たくましくきたえる力を
- (3) みんなで心をあわせ、ともに高まる力を

生徒努力目標

「人の話をよく聴こう」「あいさつをしよう」

現状と課題

- 全国学力・学習状況調査において、教科に関する調査からは国語・数学とも領域・観点・問題形式別の状況はおおむね全国と同じ傾向であるが、全国と比較すると正答数の上位層が弱い。質問紙調査の結果も踏まえると読書習慣をはじめとする言語力の育成が課題である。
- この数年、落ち着いた学習環境の中で教育活動を推進できており、この状況を維持しつつ生徒の自主性を伸ばす活動をより取り入れていく必要がある。
- 授業については、調べ学習や意見発表、話し合いなど生徒が活動する授業が少ない傾向がみられ、ICTの活用も含めた授業方法の改善に取り組む必要がある。

中期目標

【視点 学力の向上】

- 基礎学力の定着:各教科の基礎的・基本的な学習内容を理解している生徒の割合を、「全国学力・学習状況調査」や「生徒アンケート」などの結果から、平成 24 年度の水準より高める。(カリキュラム改革関連)
- 授業力の向上:国語科を中心に習熟度別少人数指導などの個に応じた指導の充実に取り組む。(マネジメント改革関連)
- 主体的に考え、自ら課題を解決する力の育成:「全国学力・学習状況調査」や「生徒アンケート」の家庭学習を習慣化している生徒の割合を平成 24 年度の水準より高める。(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 基本的生活習慣の確立:「全国学力・学習状況調査」や「生徒アンケート」の規範意識に関する項目の数値を平成 24 年度水準より高める。(カリキュラム改革関連)
- 自主活動を通じた仲間を思いやる心の育成:「生徒アンケート」の「生徒会活動は活発だと思ふ」生徒の割合を 65%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 多様な体験を通じた人権教育、キャリア教育や防災・減災教育の推進:「生徒アンケート」の「命の大切さ」や「将来の進路や生き方」の項目を 5 ポイント改善する。(カリキュラム改革関連)
- 郷土を愛する心の育成:「全国学力・学習状況調査」の「地域の行事に参加している」割合を平成 24 年度より 10%高める。(カリキュラム改革関連)(ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 健康への意識の向上:諸検診の意義を自覚させ、疾病治癒率を平成 24 年度よりも向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 体力の向上:運動部の加入率65%をめざす。全国体力・運動能力、運動習慣等調査で全国平均を上回る。(カリキュラム改革関連)
- 食育の推進:「全国学力・学習状況調査」や「生徒アンケート」の朝食を毎日食べている生徒の割合を増加させるとともに、給食の残食を前年度より減少させる。(カリキュラム改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- ICT 活用など授業方法の改善に努め、「生徒アンケート」において「授業は分かりやすい」の項目を75%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 「学校元気アップ地域本部」と連携し図書館の開館回数を週7回以上確保するとともに、「学級文庫」の設置、英検2級から4級合格を目指した「元気アップ英検」の年3回の実施等、「言語力の育成」に取り組む。中学校卒業段階で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合を35%以上とする。(マネジメント改革関連)(ガバナンス改革関連)
- 「生徒アンケート」の「家で授業の予習や復習をしている」の項目を50%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 校長戦略予算(加配)・学校教育 ICT 活用事業を活用し、「言語力育成」「表現能力の育成」のためのプレゼンテーションルームを整備する。(マネジメント改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 「生徒アンケート」において「社会へ学校のルールを守っている」の項目を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 「生徒アンケート」において「生徒会活動は活発だと思う」の項目を65%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 「生徒アンケート」の「命の大切さ」や「将来の進路や生き方」の項目を前年度より改善する。
(カリキュラム改革関連)(ガバナンス改革関連)
- 地域行事に積極的に参加させるとともに、郷土「大阪」を知り、体験させる。(カリキュラム改革関連)
- 区役所・地域と連携した防災訓練を実施する。(ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 健康への意識の向上:諸検診の意義を自覚させ、疾病治癒率を平成25年度よりも向上させる。
(カリキュラム改革関連)
- 体力の向上:運動部の加入率65%をめざす。全国体力・運動能力、運動習慣等調査で全国平均を上回る。(カリキュラム改革関連)
- 食育の推進:「全国学力・学習状況調査」や「生徒アンケート」の朝食を毎日食べている生徒の割合を増加させる。とともに、「給食を全部・ほぼ食べている」とする回答の割合を40%以上とする。(カリキュラム改革関連)

3 本年度の自己評価結果の総括

【学力の向上】について

- 全国学力・学習状況調査結果は、国語では全国平均を上回ったが数学では市平均をわずかではあるが下回った。特に記述式・活用に課題があり、言語力・表現力の育成を継続的に進める必要がある。
- 「読書」や「家庭学習」については改善傾向にはあるものの依然、全国平均を下回る。
- 全教員による研究授業・研究協議は定着してきたが、ICTの活用やアクティブラーニングなど課題は多い。

【道徳心・社会性の育成】について

- 「学校のルールを守っている」生徒が88.7%(H24の73%)と比較すると高い水準で安定している。他の項目も中期目標をほぼ達成しており、生徒一人ひとりを見据えた指導の成果があらわれている。
- 学校行事や学級活動、部活動などすべての教育活動を通じて、自尊感情・道徳心・社会性を育成しているが、自尊感情や自己肯定力には課題が残る。

【健康・体力の保持増進】について

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果は今年も全国平均を上回り、男女とも昨年度とほぼ同じであった。体育の授業の基礎体力向上の継続した取り組みの成果がよく出ている。
- 疾病治癒率が極めて低く、健康・保健指導の取り組みを強化する必要がある。

平成28年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

(1) 学力の向上

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標通りに達成した
	C: 取り組んだが、目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組まず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>○「生徒アンケート」において「授業は分かりやすい」の項目を75%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○「学校元気アップ地域本部」と連携し図書館の開館回数を週7回以上確保するとともに、「学級文庫」の設置、英検2級から4級合格を目指した「元気アップ英検」の年3回の実施、<u>漢字検定の年2回以上の実施など</u>「言語力の育成」に取り組む。 (マネジメント改革関連)(ガバナンス改革関連)</p> <p>○「生徒アンケート」の「家で授業の予習や復習をしている」の項目を50%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【習熟度別少人数授業等個に応じた指導の充実】</p> <p>国語科で<u>全学年・全学級で習熟度別少人数授業</u>を数学科、英語科で習熟度別少人数授業等個に応じた指導や<u>ICTを活用した授業</u>を推進する。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 アンケートを実施し効果検証を行う。</p>	B
<p>取組内容②【授業力の向上】</p> <p>・研究授業(研究協議あり)を全教員、年1回以上実施するとともに、相互授業参観を行う。 (カリキュラム改革関連)(マネジメント改革関連)</p> <p>・英語のコミュニケーション能力の育成を図り、中学校卒業段階で英検3級程度の割合を<u>30% 35%以上</u>を目指す (グローバル化改革関連)</p> <p>指標 ・研究授業(研究協議あり)を全教員、年1回以上実施し、授業アドバイスシートを活用。 ・3年生の英語能力判定テストにおいて、英検3級程度の割合を35%以上とする。</p>	B
<p>取組内容③【自主学習習慣の定着】</p> <p>始業前の朝学習を年間を通じ週3回実施し基礎学力の定着を図るとともに、自主学習習慣の定着に努める。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 「全国学力・学習状況調査」や「生徒アンケート」の家庭学習を習慣化している生徒の割合を大阪市の平均より高める。</p>	C
<p>取組内容④【言語力の育成】</p> <p>・「学校元気アップ地域本部」と連携し、図書館をより使いやすくするとともに、図書館を週に7回以上開館する。 (マネジメント改革関連)(ガバナンス改革関連)</p> <p>・「学級文庫」を設置し、本に親しむ環境整備を行う。 (マネジメント改革関連)</p> <p>・校長戦略予算加算配布を活用し<u>昨年度に引き続き</u>図書館の電子化(蔵書管理)を実施する。 (マネジメント改革関連)</p> <p>・言語力の育成のための漢字検定の年2回以上の実施。 (マネジメント改革関連)</p> <p>指標 「読書が好きな」生徒の割合を前年度より改善する。</p>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>【年度目標】について</p> <p>○「生徒アンケート」で「授業は分かりやすい」と答えた生徒の割合は 82.7%（昨年 77%）であり目標を達成した。1 年 79.1%、2 年 90%、3 年 78.8 と学年により若干差が生じている。</p> <p>○図書館の開館は地域ボランティアの協力で週 7 回以上の目標を達成し 1 月末で 251 回、学級文庫も設置した。また、「元気アップ英検」2 回と区の公費負担による 1・2 年生全員受験により計 3 回の学校での英検受験機会を作った。漢検も「元気アップ」1 回と公費による 1 年生全員受験を行う予定であり目標を達成した。</p> <p>○「予習・復習をしている」生徒の割合は 45.5%（昨年 43%）とやや増えたものの目標を達成できなかった。</p> <p>【取組内容】について</p> <p>①国・社・数・英の 4 教科では TT を基本に実施。習熟度に応じた課題や個に応じた学習支援を行っているが、学年進行により「わかる」「楽しい」が減少している。</p> <p>②1 月末までに全教員が年 1 回以上の研究協議を伴う研究授業を実施した。</p> <p>また、C－N E T の活用などの授業の工夫や「元気アップ英検」の活用などにより、英語コミュニケーション能力の育成を継続して図っている。その結果、3 年生の英検 3 級程度以上の割合は 39.0%（昨年 33%）と目標を上回り、2 年生の英検 4 級程度以上が 66.7%（市平均 61.4%）、1 年生の英検 5 級程度以上が 89.0%（市平均 89.0%）と良好な成績をあげている。</p> <p>③各学年とも、朝学習を実施し、採点後も毎回確認をし、再提出などきめ細かな指導を継続している。しかし、「全国学力・学習状況調査」では宿題は 94.1%と全国平均を上回るものの、予・復習は大きく下回り、家庭学習習慣の向上には結びついていない現状である。</p> <p>④地域ボランティアの協力によりほぼ予定通り開館できている。「全国学力・学習状況調査」では「読書が好きな」生徒は 57.6%と前年度より 3.4 ポイント上がり改善傾向が続いている。</p>
今後への改善点
<p>【目標設定】について</p> <p>○「わかりやすい授業」について、目標を達成してはいるものの学力の両極分化や学力調査の B 問題への対応などに課題がある。粘り強く取り組む姿勢を育成するとともに、「活用」を意識した授業づくりを充実させていく必要がある。</p> <p>○I C T の活用について、一部の教科で取り組み始めているが十分とは言えない。ハード・ソフト両面の課題もあるが取り組みを進める必要がある。</p> <p>○予習、復習を含めた家庭学習の習慣化が不十分であり、保護者への啓発をすすめながら、家庭学習の仕方など現実にあった生徒支援が必要である。</p> <p>○「読書が好きな」生徒の割合は改善傾向にあるが、全国平均と比べるとかなり低い。図書館の週 10 回以上の開館を継続して行うとともに一斉読書期間の延長などを検討していく。</p> <p>【取組内容】について</p> <p>①アクティブラーニングや I C T を活用した授業方法の工夫に取り組んでいく。</p> <p>②習熟度別少人数授業や T ・ T 授業などにおいて、より効果的な工夫に取り組んでいく。</p> <p>③家庭学習の習慣化の確立をめざし、有効な家庭学習課題や支援方法の工夫をすすめる。</p> <p>④元気アップ授業や学校図書館活用事業を活用するなどして、読書習慣の定着をはかる。</p> <p>⑤学力向上に向け、小中間のより一層の連携を図る取り組みに向けての検討をすすめる。</p>

平成28年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

(2) 道徳心・社会性の育成

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○「生徒アンケート」において「社会へ学校のルールを守っている」の項目を80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○「生徒アンケート」において「生徒会活動は活発だと思う」の肯定的割合を65%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○「生徒アンケート」の「命の大切さ」や「将来の進路や生き方」の項目を前年度より改善する (カリキュラム改革関連)(ガバナンス改革関連)</p> <p>○<u>区役所・地域と連携した防災訓練を実施する。</u>また郷土「大阪」を知り、体験させる。 (ガバナンス改革関連)(カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【 基本的生活習慣・特別活動の確立 】</p> <p>毎朝の正門指導や集会講話を通じて、あいさつや時間を守ることを指導する。 学級会活動を活発にし、生徒会本部と各種専門委員会の連携を深める。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 「学校のルールを守っている」の肯定的割合を80%以上にする。 「生徒アンケート」の「生徒会活動は活発だ」の肯定的割合を65%以上にする。</p>	A
<p>取組内容②【 防災・減災教育の推進】</p> <p><u>区役所・地域と連携した防災訓練を実施し防災、減災に関する知識を取得する。</u> (ガバナンス改革関連)</p> <p>指標 <u>土曜授業で区役所、地域と連携した防災訓練を実施する。</u></p>	B
<p>取組内容③【 人権教育・キャリア教育の推進 】</p> <p>外部講師や体験学習を取り入れた人権教育・キャリア教育を推進する。 (平和学習、性教育、地域での職場体験など) (カリキュラム改革関連)(ガバナンス改革関連)</p> <p>指標 「生徒アンケート」の「命の大切さ」や「将来の進路や生き方」の項目を前年度より改善する。</p>	B
<p>取組内容④【 豊かな心の育成 】</p> <p>土曜授業で「ミュージカル」を鑑賞し保護者・地域住民と連携するとともに、芸術文化に興味・関心を持たせ文化発表会での舞台発表を充実させる。(カリキュラム改革関連)(ガバナンス改革関連)</p> <p>指標 土曜授業で芸術鑑賞を実施し、文化発表会では学年の舞台発表を行う。</p>	B
<p>取組内容⑤【 大阪らしさを活かした取組 】</p> <p>市営交通の一日乗車券を使い市内を班別に行動させる「大阪体験学習」や<u>地域行事に積極的に参加して、わが町“大阪”を愛する心を育てる。</u>(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 活動後の感想文やアンケートから達成度を推察する。</p>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>【年度目標】について</p> <p>○今年度も落ち着いた状態であり、「社会や学校のルールを守っている」は 88.7%（昨年 88.6%）であり目標を達成した。</p> <p>○「生徒会活動は活発だと思う」割合は 73.7%（昨年 75%）と昨年をやや下回った。</p> <p>○各学年で工夫し、特別活動、総合学習の時間を中心に「命の大切さ」について、生徒に考えさせる時間や機会を設けていた。また、職場体験（2 年生）や体験授業（3 年生）などを通じて、自分の将来像を考えさせる機会をできるだけ多く設定した。「命の大切さ」については 92.5%（昨年 94%）、「将来の進路や生き方」については 67.7%（昨年 65%）と昨年とほぼ変わらない生徒が肯定的に答えている。</p> <p>○「大阪ウォッチング」を実施し、取組後のまとめなどから「わが町“大阪”」を知り愛する心を育てる契機となったと思われる。</p> <p>【取組内容】について</p> <p>①生徒会や風紀委員が中心になって、正門指導を実施した。遅刻する生徒や校則違反の数は少ないが、固定化しているのが現状である。また、生徒会活動は、エコキャップ・プルタブの回収を継続したり他校との生徒会交流会に参加したりと、校内外問わず積極的な活動を実施した。</p> <p>②11 月 5 日には土曜授業として区役所・地域と連携した防災訓練を実施した。</p> <p>③8 月 27 日に土曜授業として「平和登校日」を実施したほか、各学年で工夫をした人権教育にも力を入れている。3 年生では 8 月 29 日に体験授業、2 年生では 9 月 15・16 日に職場体験を実施した。</p> <p>④今年度も土曜授業として「芸術鑑賞」を実施した。保護者の参加もあり親と子が楽しむ行事として定着した。文化発表会では 3 学年とも舞台発表を行い内容も充実していた</p> <p>⑤「大阪ウォッチング」を 7 月 6 日に実施し、事前・事後指導も含めて「わが町“大阪”」を知る機会となった。また、太陽の町の「中学生みこし」へ参加したほか、吹奏楽部が様々な地域行事で演奏をした。</p>
今後への改善点
<p>【目標設定】について</p> <p>○すべての項目について低い数字ではないものの顕著な上昇がみられない。より高い目標を設定して教育活動を展開していく必要がある。</p> <p>○自尊感情や自己肯定力を高めるために、学校生活（学習・体験活動・集団づくり）において達成感や成就感、他からの信頼感などが感じられる活動に取り組む必要がある。</p> <p>○本校では、人権教育に重点をおきつつ、道徳の教科化に向けて全教員が授業実践を行い研修を深めてきたが、より一層の教材や指導方法の工夫が必要である。</p> <p>【取組内容】について</p> <p>①授業や行事、朝の正門指導など、すべての教育活動の中で、規範意識の醸成をはかる。</p> <p>②年間 35 時間の道徳授業の時間を確保し、指導内容の充実をはかる。</p> <p>③「職場体験」「高校出前授業」「職業講話」などを中心にキャリア教育の継続的な指導を行う。</p> <p>④「大阪ウォッチング」「芸術鑑賞」を継続実施し、郷土や芸術を愛する心を育てる。</p> <p>⑤区役所・地域と連携した防災訓練を継続実施し、内容を充実させる。</p>

平成28年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

(3) 健康・体力の保持増進

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>○健康への意識の向上:諸検診の意義を自覚させ、疾病治癒率を平成26年度よりも向上させる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○体力の向上への支援を行い、全国体力・運動能力、運動習慣等調査で全国平均を上回る。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○食育の推進:「全国学力・学習状況調査」や「生徒アンケート」の朝食を毎日食べている生徒の割合を増加させる。(カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【健康への意識の向上】</p> <p>「保健だより」を定期的に発行し健診の意義を自覚させるとともに、外部講師を招き、「ティーンズヘルスセミナー」や「薬物乱用防止教室」を実施する。(カリキュラム改革関連)</p>	C
<p>指標 疾病治癒率を平成26年度よりも向上させる。</p>	
<p>取組内容②【体力の向上への支援】</p> <p>保健体育の授業において、準備運動や補強運動を確実に行うとともに、能力別にグループ分けを行い、生徒一人ひとりに運動の喜びや楽しさを感じさせる。(カリキュラム改革関連)</p>	A
<p>指標 運動部の加入率65%以上を目指す。<u>全国体力・運動能力、運動習慣等調査で全国平均を上回る。</u></p>	
<p>取組内容③【食育の推進】</p> <p>「食育通信」と「保健だより」を定期的に発行し、生徒・保護者への周知をはかり、家庭を含めた意識改革を行う。(マネジメント改革関連)</p>	B
<p>指標 「全国学力・学習状況調査」や「生徒アンケート」の朝食を毎日食べている生徒の割合を、平成27年度より増加させる。 <u>「給食を全部・ほぼ食べている」とする回答の割合を40%以上とする。</u></p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>【年度目標】について</p> <p>○健診結果を学期末懇談時を利用して保護者へ通知しているが、1月末の治癒率は37.3%（昨年度39.3%・一昨年度51%）と低い。</p> <p>○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、今年度も8種目中、男子で6種目、女子で6種目、体力合計点でも男女とも全国平均を上回っている。</p> <p>○全国学力・学習状況調査の朝食を毎日食べている生徒の割合は85.9%で昨年度より3.3ポイント下がり低下傾向にある。「生徒アンケート」では88.3%（昨年度88.6%）と変化は見られない。「給食をほぼ・全部食べている」とする回答は51.6%（昨年度41.4%）であった。</p> <p>【取組内容】について</p> <p>①「保健だより」を定期的に発行するほか、保健委員による啓発掲示物を作成し、健康に対する意識を高めた。また、外部講師による性教育を3年生・1年生を対象に実施した（1年生は2月実施）。住之江区保護司会の講師による「薬物乱用防止教室」も1年生対象に実施した。</p> <p>②体育の授業では、基礎体力の向上をめざし準備運動や補強運動に力を入れているほか3年間の記録を残し意欲を高める工夫をしている。なお、今年度4月の運動部の加入率は63.1%であった。</p> <p>③毎月「食育つうしん」を全生徒に配布したほか、給食の様子をHPで公開し、7月・12月には「先生と生徒の調理教室」を実施するなど食に対する意識を高めている。</p>
今後への改善点
<p>【年度目標】について</p> <p>○治癒率向上に向け、生徒・保護者に対する啓発を進める必要がある。</p> <p>○今後とも体育の授業を中心に体力向上の取り組みを継続するとともに、運動部や地域のクラブに参加していない生徒に運動習慣をつける工夫が必要である。</p> <p>○来年度のみ給食が選択制に戻るが、全職員での食育を進めていく必要がある。</p> <p>【取組内容】について</p> <p>①「保健だより」を通じ、健康管理の意識をさらに高める。</p> <p>②男女の握力が全国平均に届かない傾向が続いており、有効な手立てを模索する。</p> <p>③部活動の入部率を高める取り組みを継続する。</p> <p>④選択制になるが、給食の残食の減少に努める。</p>